

『光あれ！』 ヨハネの福音書 4章46～54節 2017.7.2(聖日礼拝説教より)

『…眠っている人よ。目をさませ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストが、あなたを照らされる。』エペソ 5:14
信仰で大切なのは『何を信じるか』だが、信じる人に何が起きるかにも注目！ 神に喜ばれる信仰には段階が3つある！

①イエス様に求める 47 節…この段階には誰もが進める！ なんとなくでも、苦しい時の神頼みでいい、とにかく求める！ ヨハネ4章の役人の信仰には3つ欠けがあった。①『どうか下って来て…(47,49)』。イエス様が直接来なければ始まらない！ ②『死なないうちに…(49)』。死んでしまえばイエス様でも手遅れ！ ③奇跡を見て信じる信仰！ ★私たちが、「神様はここにいない！」と思ったり、こうなったら神様でも無理と諦めたり、凄い奇跡だけを期待する。しかしどんなに半信半疑でも、まずイエス様に求めることが第一！

②神の言葉を聴いて受け取る(50 節)…必死に願う役人にイエス様が告げた。50 節「帰って行きなさい。あなたの息子は直っています」。最初この役人は、神の子なら証拠を見せろ！ 位の自己中心で高慢な思いだった。しかし彼がイエス様の権威ある言葉を聴き、それを素直に信じた帰り道、神の言葉がそのまま現実となることを知る。『神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。(創世 1:3)』！これは、マタイ8章の百人隊長の信仰！ II 列王記5章の、シリアの將軍ナアマンの出来事と同じ。★神の言葉を聞き、そのまま素直に信じる、謙虚な信仰の段階！ ここで人は神と出会う！

③神への確信！ 家族の救いの段階！ (53 節)…「あなたの息子は直っています(50,51,53 節)」の「直る」は「生きる」の意。「あなたの息子は生きています」の意。役人と、その家族は、イエスの言葉通りになった奇跡に驚いたのではなく、その言葉を告げたイエス・キリストというお方が何者かを知った！ 『命を与える方』！ その方が言われる！ 『眠っている人よ。目をさませ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストが、あなたを照らされる(エペソ 5:14)』。「死者」とは、神から離れて生きている人！ 神と人に愛されている実感がなく！ 神と人を愛する喜びも知らない！ そんな闇の住人が、イエス様の許に行き、御言葉を聴き、そのまま信じ従う時、驚くべき出来事を味わう！ その時、その人も家族も迫り来る神の愛を実感する！

★「光あれ！」と言われるイエス様の前に自分の信仰はどの段階？ あなたが、この3つの段階を通り、命の光を与えるイエス様を知り、家族とともに信頼し、共に「光」の中を歩む生活へ！